

関市ソーシャルビジネス支援助成金 成果目標の金銭価値化とは

1 SROI（社会的投資収益率）測定プログラムの導入

（１）SROI（社会的投資収益率）とは

SROI（Social Return on Investment）とは、社会的投資収益率のことであり、社会課題の解決がもたらす定性的な価値（事業によって生じた変化に伴う経済的価値及び社会的価値等）を、金銭価値に換算して定量的に示す指標のことである。一定期間の社会的成果の部分に何を含めるかという点に、この指標の持つ特性がある。多くの場合、雇用の効果、教育の効果などの正の外部経済の要素が数量化され、社会的成果として測定される。

（２）用語の定義

用語	説明
ステークホルダー	事業の利害関係者（直接的、間接的を含む。） 【例】ホームレス、支援スタッフ、ボランティア、行政
インプット	投資した資源（費用、スタッフの人数、ボランティア、現物支給） 【例】予算 60 万円、スタッフ 2 名、ボランティア 10 名、毛布 100 枚の提供
アクティビティ	インプットを用いて、効果を出すために実施した活動 【例】週 2 回のホームレスの見守り活動と個別相談
アウトプット	アクティビティの結果 【例】100 人のホームレスの支援ができた
アウトカム	事業や活動の効果、成果（事業により変化したこと） 【例】100 人のうち 50 人を行政の窓口へ誘導し、20 人が就労支援プログラムに参加
インパクト	アウトカムを金銭価値化したもの 【例】見守り活動のインパクトは 100 万円。個別相談のインパクトは 50 万円
インパクトマップ	事業の価値連鎖表。ステークホルダー～インパクトまで繋がった表

※【例】はホームレス支援事業の場合とする。

（３）導入することで得られる効果

メリット

- ①事業の利害関係者に対して本事業の価値（効果）を目に見える形で提示することができる。
- ②インパクトマップ作成においてどのアウトプットがアウトカム創出及びその大きさに対して関連が深いかが分かり、事業運営の改善に繋がる。

活用方法

- ①事業対象者に対して、事業の効果を提示することで、積極的な事業の受入、参画を得る。
- ②事業関係者（提携先など）に対して、事業の効果を共有することで、広く参画・協力を得る。
- ③資金提供者に対して予算獲得に向けた根拠提示をする。
- ④事業の見直しを行う際の情報として活用する。

2 測定方法

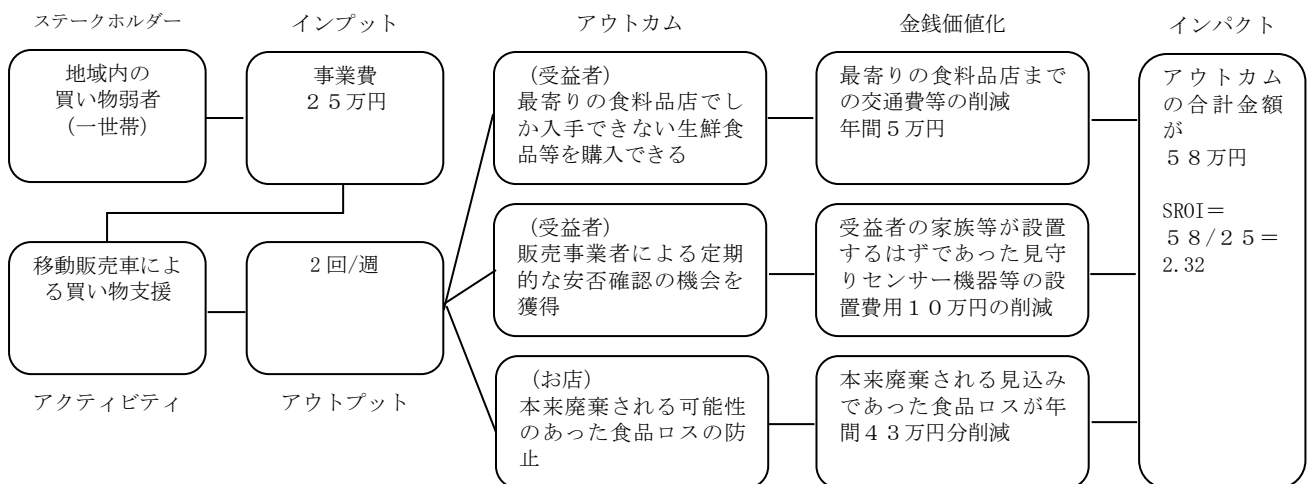
(1) 計算式

社会的投資利益率 = 一定期間の金銭価値化した社会的成果 ÷ 投資費用

(2) 測定の流れ

- ①ステークホルダー、アウトカムの特定
 - ・誰にどのような影響があり、どういった成果が見込めるのか
- ②アウトカムに関連したインプット・アウトプットのデータ収集
 - ・インプット・アウトプットの範囲を特定
 - ・具体的なデータの収集
- ③具体的な成果指標と金銭価値化の指標決定
 - ・成果指標を設定し、その変化量を測定
 - ・金銭価値化の指標を設定し、数値を明確化
- ④インパクトの測定・確認
 - ・SROI 測定により指標を計算

(3) インパクトマップ及び SROI 測定のイメージ図



※ステークホルダーごとに価値連鎖を可視化し、全体を合計する。

(4) 金銭価値化の指標パターン

金銭価値化の指標パターン	パターンの考え方
①行政コスト削減指標	行政コストの削減額を計測
②民間サービス相当指標	同じアウトカムを生じさせることが可能な民間サービスの受益を得た際にかかる費用
③対象者の支払い意思指標	行政及び民間サービスが存在しない場合、対象者がいくらまで支払うかという支払い意向を計測
④生産（産業付加価値）の増加指標	ステークホルダーにおいて生じた新たな生産活動（額）を計測
⑤収入の増加指標	ステークホルダーにおいて生じた収入増加効果を計測する
⑥消費の増加指標	ステークホルダーにおいて生じた消費拡大効果を計測する